

東日本大震災東北地方被災地への支援状況

●被災地への物資提供

(1) 市からの支援物資

○平成 23 年 3 月 18 日に、北海道を通じて福島県、宮城県、岩手県から要望のあった支援物資を、陸上自衛隊釧路駐屯地の車両で、被災地に向け送り出しました。

毛布 1000 枚、飲料水（1.5ℓボトル）2000 本、簡易トイレ 72 個、ブルーシート 125 枚

○3 月 16 日に、釧路港から東北の被災地に向けて出港した民間建設会社の起重機船に託して「くしろ阿寒百年水（0.5ℓボトル）」2500 本を福島県相馬市に送りました。



自衛隊車両への支援物資積み込み

(2) 市民からの支援物資

4 月 4 日～22 日まで市民の皆様からの支援物資を受け付け、道庁ルートで宮城県に送りました。

●被災漁業者への支援

釧路港には東北各県からの外来船がサンマなどを水揚げし、釧路市の水産業振興に大きな役割を果たすとともに地域経済の一翼を担ってきました。そのため、これまでの貢献に感謝し、東日本大震災で被害にあわれた宮城県（石巻市）、岩手県（大船渡市）の漁業関係者へ支援を行いました。

(1) 東北地方の外来船船主への見舞金

平成 22 年に釧路港に水揚げ実績のある漁船（74 隻）の船主等を対象に実施しました。

副市長が 5 月 12 日に石巻市を、13 日に大船渡市を訪問し見舞金をお渡ししました。見舞金は 1 隻あたり 10 万円

(2) 出漁準備への支援

現地の関連事業所が被災して出漁準備ができない外来船に対し、釧路市で準備し、出漁できるよう支援しました。（55 世帯 61 人）

出漁準備、乗組員の生活費等に係る一時金の支給（1 人あたり 5 万円、一世帯上限 15 万円）

(3) 被災地漁業の復旧支援

釧路市東部漁業協同組合の協力により、小型船等を被災地漁業団体に提供しました。

（養殖漁業等で使用する小型船 12 隻、漁具一式、現地関係者の来釧旅費支援等 1 件 2 名）

●釧路市職員の被災地への派遣

被災地支援に派遣した職員の総数：81人（いずれも短期派遣 派遣内容は以下のとおり）			
派遣職員等の種別	支援の内容	担当部	派遣先
美術館学芸員	文化財レスキュー事業（陸前高田市立博物館美術品の応急措置）へ学芸員を派遣した。 ・派遣期間 9/15～9/22 1名	生涯学習部	岩手県 盛岡市
緊急消防援助隊	総務省消防庁の北海道ブロック消防緊急援助隊の第2～12次隊に消防職員を派遣した。 ・派遣期間 3/16～5/1 38名	消防本部	宮城県 石巻市
市立病院災害派遣医療チーム（DMAT）	北海道からの要請で市立釧路総合病院DMATを千歳空港（臨時救護施設）に派遣した。 ・派遣期間 3/12～3/13 5名	市立病院	千歳空港
道東ドクターヘリ	千歳空港から札幌市内の医療機関まで重症の被災者を搬送するためドクターヘリを派遣した。 ・派遣期間 3/12～3/13 2名	市立病院	千歳空港
応急給水支援隊	日本水道協会の応急給水支援隊として、職員と管工事企業組合職員のチームを2回派遣。 派遣期間 3/21～4/4 6名（市職員分）	上下水道部	宮城県 仙台市
下水道技術者	北海道下水道災害復旧支援チームの一員として下水道技術者を派遣した。 ・派遣期間 3/30～4/7 2名	上下水道部	宮城県 岩沼市
医療救護隊〔第一次〕	北海道から要請で、市立病院の医療救護班を派遣した。 ・派遣期間 4/4～4/12 8名	市立病院	宮城県 気仙沼市
建築職①（被災建築物応急危険度判定士）	北海道の要請で建築物応急危険度判定士資格者の建築職を派遣した。 ・派遣期間 4/18～4/22 1名	都市整備部	宮城県 多賀城市
災害支援ナース	社団法人北海道看護協会の要請で市立病院の看護師を派遣した。 ・派遣期間 4/25～4/30 1名	市立病院	岩手県
建築職②	全国市長会からの要請で被災建物の被害判定に当たる建築職員を派遣した。 ・派遣期間 4/20～5/4 2名	都市整備部	福島県 須賀川市
保健師	盛岡市からの要請で盛岡市内の福祉避難施設で巡回健康相談等に当たる保健師を派遣した。 ・派遣期間 5/12～5/16 2名	福祉部 こども保健部	岩手県 盛岡市

医療救護隊（第2次）の派遣	北海道の要請で医療救護班7名（医師2、看護師2、薬剤師1、事務2）を派遣した。 ・派遣期間 5/26～6/1 7名	市立病院	宮城県 気仙沼市
建築職③の派遣	国の要請で、被災地で応急仮設住宅の建設業務に従事する建築職員を派遣した。 ・派遣期間 5/9～ 8/14 延6名	都市整備部	仙台市
団体等による活動や個人ボランティアによって被災地支援活動に参加した職員	1. 職務専念義務免除承認者により被災地支援に従事した職員：5名 2. ボランティア休暇を取得し被災地支援活動に参加した職員：23名		

●被災者を釧路市の臨時職員に採用

東日本大震災の被災者の方々を釧路市の臨時職員に採用しました。（5名）